

## 「旧約聖書から 礼拝について学ぶ」

レビ記1章1～9節、  
サムエル記第1 15章22、23節

1

## 礼拝はまことの神との関係

- 生けるまことの神との関係(礼拝)は神の招きと導きよってのみ可能
- 神を知るためには神の啓示(みことば)が必要。啓示＝覆いを取り除ける
- 神のみことばに従って礼拝を捧げる
- 礼拝は神とのつながり、そして礼拝は生活とつながっている。

2

## 神に受け入れられない礼拝

ある時期になって、カインは、地の作物から【主】へのささげ物を持って来たが、アベルもまた彼の羊の初子の中から、それも最上のもを持って来た【主】はアベルとそのささげ物に目を留められた。だが、カインとそのささげ物には目を留められなかった。それで、カインはひどく怒り、顔を伏せた。そこで、【主】は、カインに仰せられた。「なぜ、あなたは憤っているのか。なぜ、顔を伏せているのか。あなたが正しく行ったのであれば、受け入れられる。ただし、あなたが正しく行っていないのなら、罪は戸口で待ち伏せして、あなたを恋い慕っている。だが、あなたは、それを治めるべきである。」  
創世4:3-7

3

## 神に受け入れられない礼拝

さて、アロンの子ナダブとアビフは、おのおの自分の火皿を取り、その中に火を入れ、その上に香を盛り、主が彼らに命じなかった異なった火を【主】の前にささげた。すると、【主】の前から火が出て、彼らを焼き尽くし、彼らは【主】の前で死んだ。それで、モーセはアロンに言った。「【主】が仰せになったことは、こういうことだ。『わたしに近づく者によって、わたしは自分の聖を現し、すべての民の前でわたしは自分の栄光を現す。』」レビ10:1-3、出24:9-11

4

## 神に受け入れられない礼拝

- わたしは誠実を喜ぶが、いけにえは喜ばない。全焼のいけにえより、むしろ神を知ることと喜ぶところが、彼らはアダムのように契約を破り、その時わたしを裏切った。ホセ7:6-7
- 今、もしあなたがたが、まことにわたしの声に聞き従い、わたしの契約を守るなら、あなたがたはすべての国々の民の中にあつて、わたしの宝となる。全世界はわたしのものであるから。あなたがたはわたしにとって祭司の王国、聖なる国民となる。これが、イスラエル人にあなたの語るべきことばである。」出19:5-6 (こうなったのは)

5

## アブラハムへ約束が動きした

- 【主】はアブラムに仰せられた。「あなたは、あなたの生まれ故郷、あなたの父の家を出て、わたしが示す地へ行きなさい。そうすれば、わたしはあなたを大いなる国民とし、あなたを祝福し、あなたの名を大いなるものとしよう。あなたの名は祝福となる。あなたを祝福する者をわたしは祝福し、あなたをのろう者をわたしはのろう。地上のすべての民族は、あなたによって祝福される。」創12:1-3

6

## アブラハムへ約束が動きした

- まことの神を捨てた人間の絶望的な状態からの救いの約束
- イスラエルという国の誕生
- すべての人々を祝福する計画
- 契約、律法、神殿(幕屋)、礼拝(いけにえの制度)
- イスラエルはその特権を放棄して滅びた。(「こうなったのは」)

7

## 神は礼拝者の心を見る

- するとサムエルは言った。「主は【主】の御声に聞き従うことほどに、全焼のいけにえや、その他のいけにえを喜ばれるだろうか。見よ。聞き従うことは、いけにえにまさり、耳を傾けることは、雄羊の脂肪にまさる。まことに、そむくことは古い罪、従わないことは偶像礼拝の罪だ。あなたが【主】のことばを退けたので、主もあなたを王位から退けた。」

1サムエル15:22-23

8

## 神は礼拝者の生活を見る

- 神殿でささげられるいけにえの制度を通して関係の回復、その関係の中で生きることを教えられている。礼拝と生活は切り離せない。
- 神との関係は日常生活に反映する。礼拝は関係であり、儀式ではない
- 私たちには形式に走る、律法主義に走る傾向がある。
- 神を宗教化する傾向がある。偶像崇拜化する。子牛を造る。そのほうが楽だから？

9

## 旧約聖書から礼拝を学ぶ

- 聖書の教える礼拝は、生けるまことの神との関係。
- まことの神との関係は、神の導きによるのみ可能。
- まことの礼拝はまことの神の啓示、神のみことばに従ってささげられる。
- 礼拝と生活は切り離せない。
- 日曜日に心からささげる礼拝は、6日間の生活を助ける。6日間の生活を神にささげている人には、日曜日の礼拝が有意義で大切なものになる。

10